

2009年度 第33回日本口承文芸学会 大会プログラム

会場：奈良教育大学（奈良市高畑町）

6月6日（土） L1（講義1号棟1F） 101教室

【開会の辞】13:00

【公開講演】13:10～15:50（一般市民歓迎、申込み不要、参加費無料）

説話のシルクロード—世界の口承文芸と奈良—（13:10～14:25）

奈良教育大学 竹原威滋

竹原講演要旨：<http://mailsrv.nara-edu.ac.jp/~takehat/LecRej090606.pdf>

うたとは何か再考（14:35～15:50）

立正大学 藤井貞和

【総会】15:50～16:40

【奈良伝説散歩】16:40～17:45 案内・解説：奈良教育大学 竹原威滋

奈良教育大学～市内循環バス～近鉄奈良駅～徒歩～猿沢の池

6月7日（日） L1（講義1号棟1F） 101教室

【研究発表】9:00～12:10 101教室

文化の境界を越えるサブタイトル：「Rakugo」の（不）可能性

大阪大学大学院 MIZIRAKLI HALT（ムズラックル・ハリト）

近代日本における「仏教音楽」の成立—「俗謡」から分断されたご詠歌—

東京藝術大学 新堀敏乃

方言研究と昔話研究

愛知県 高木史人

イマカンの謡とシャーマン神歌

日本大学法学部 于曉飛

南島における陰陽道系説話の展開

国立歴史民俗博物館研究部 小池淳一

ユカラにおける *Aomomomo*（われつまびらかに述ぶ）という語について

帝京平成大学 荻原真子

【シンポジウム】13:10～16:30 101教室

「ウタとカタリ—比較歌謡研究の現場から—」

司会

奈良教育大学

永池健二

奄美の口承歌謡にみるウタ（短詞型歌謡）とカタリ（長詞型叙事歌謡）の位相

—《鳥賊曳き（いきゃびき・いちゃびち）》を例に—

川村学園女子大学

酒井正子

同音という指標—日本の中世芸能におけるウタイとコトバー

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

藤田隆則

ビルマ古典詩と歌謡の間

大阪大学

井上さゆり

【閉会の辞】16:30

（問い合わせ先） 大会事務局 奈良教育大学国文学第一研究室（永池研究室）永池健二

〒630-8301 奈良市高畑町 Tel & Fax:0742-27-9153 メール：nagaike@nara-edu.ac.jp